

# 環境メールマガジン(第27号)

発行日：平成29年12月15日

発行元：野洲市環境経済部環境課

「野洲市環境保全活動推進事業」  
電話：077-587-6003

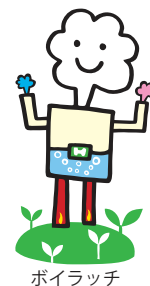
本号では、市内の環境保全協定を締結している事業所において、地道に環境保全活動に取り組みられ着実に成果をあげられており、他社の参考となる取組み事例を紹介します。

企業名：株式会社ヒラカワ 滋賀事業所

住所：野洲市三上 2308 番地

## 会社の概要

- (1) 設立 : 1912年4月(明治45年)
- (2) 資本金 : 9000万円
- (3) 事業内容 : ボイラおよび周辺機器の開発・製造・販売・メンテナンス
- (4) 従業員数 : 297名
- (5) 本社 : 大阪府大阪市北区大淀北1丁目9番36号  
TEL: 06-6458-8687 FAX: 06-6458-8691  
URL: <http://www.hirakawag.co.jp>
- (6) 国内拠点 : 滋賀事業所、宮崎工場  
営業拠点 : 札幌・青森・仙台・さいたま・長野・東京・横浜・  
金沢・名古屋・滋賀・大阪・堺・広島・丸亀・福岡
- (7) 海外拠点 : タイ



## 滋賀事業所の概要

55年前から三上山の麓でボイラの製造を行っております。

西麓に鎮座する御上神社に祀られている天之御影命(あめのみかげのみこと)は、鍛冶の神、火と水を司る神と言われております。同じく火と水を必要とするボイラを製造する私たちに最適な場所と考え、安全な製造ができるように、野洲に滋賀事業所を開設しました。

- 開設 : 1962年 滋賀工場(現 滋賀事業所)
- 事業内容 : ボイラの開発・設計・製造・品質保証に関する部門をおく
- 従業員数 : 120人(2017.10月現在)
- 問い合わせ先 : TEL: 077-588-2451 FAX: 077-586-0336



・滋賀事業所全景



・ボイラ技術開発センター「B-TEC」



潜熱回収温水器  
UltraGas(ウルトラガス)



潜熱回収貫流ボイラ  
ConboGas(コンボガス)

●環境方針

## 1. 基本理念

### 社是・信頼される会社・信頼される人間・信頼される製品

株式会社ヒラカワは社是三則に基づき、「地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つである」ことを認識し、琵琶湖・野洲川を控えた滋賀事業所の立地環境への責務として、事業活動、製品およびサービスのあらゆる面で環境保全と資源の保護を推進し、地球環境の継続的な向上を図る。

## 2. 基本方針

- (1) ボイラおよび環境機器のスペシャリストカンパニーとして、エネルギー効率向上と環境負荷の低減に寄与する商品およびサービスの開発に努め、顧客に対しその提供を通じて社会に貢献する。
- (2) 事業活動を通じ、省資源（原材料・水）省エネルギー（電気・石油）廃棄物削減を図り、健全な環境の維持管理に努める。
- (3) 環境関連の法律・規制および組織が同意するその他の要求事項を遵守するに止まらず、経済的、技術的に可能な範囲で自主規制基準を定め、環境の保全に努める。
- (4) 環境保全活動を通じて地域社会に貢献する。
- (5) 環境方針達成のため、「ISO14001」規格に基づく環境管理システムを構築し、設定された環境目的および目標の定期的な見直しを図り、環境保全の継続的な維持、改善および汚染の予防に努める。
- (6) 従業員が環境方針を理解し、方針に沿った活動を継続的に行うように周知する。
- (7) この環境方針は、社外からの要求に対して公表する。



## ◎ヒラカワの環境負荷低減活動

### ①消防訓練および環境事故対応訓練

- ・ 消防訓練：消火器、消火栓による放水訓練を実施しています。



- ・ 環境事故対応訓練：油の漏洩に備えて流出防止設置・確認の訓練を実施しています。





## ②社会貢献活動

- ・地域環境整備の一環として月に2回、工場周辺道路の清掃活動を行っています。



## ③グリーンカーテン

- ・夏の省エネ活動の一環として、アサガオやゴーヤを植えてグリーンカーテンを設置しています。日差しを遮ることにより温度の上昇を防ぎ、空調の負荷を抑えました。



#### ④環境管理パトロール

- ・毎月各職場を巡回し、廃棄物・排水の確認を行っています。  
廃棄物が正しい場所に捨てられているか、油等が流出する危険性がないか、  
排水に異常が見られないかをチェックします。

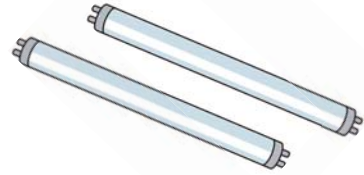




## ⑤省エネタイプの蛍光灯への交換

- 工場内の天井照明を水銀灯から省エネタイプの蛍光灯へ置換えました。  
年間 CO<sub>2</sub> 排出量を前年対比 74.1%削減しました。

導入前					
エリア	器具種類	台数	1台あたり消費電力	年間使用電力量	年間CO <sub>2</sub> 排出量
		(台)	(W)		
第一工場	700W水銀灯	21	730	30,660	16,005
	700W灯光器	16	745	23,840	12,444
第二工場	700W水銀灯	22	730	32,120	16,767
	700W灯光器	12	745	17,880	9,333
合計		71		104,500	54,549



明るさは約2倍に！  
102lx→209lx

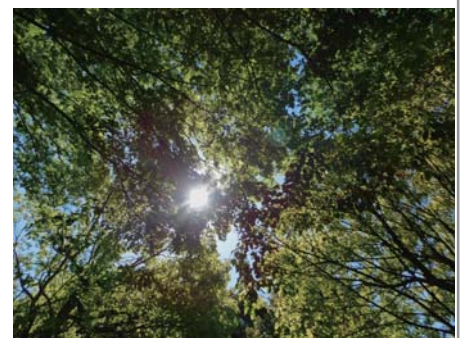
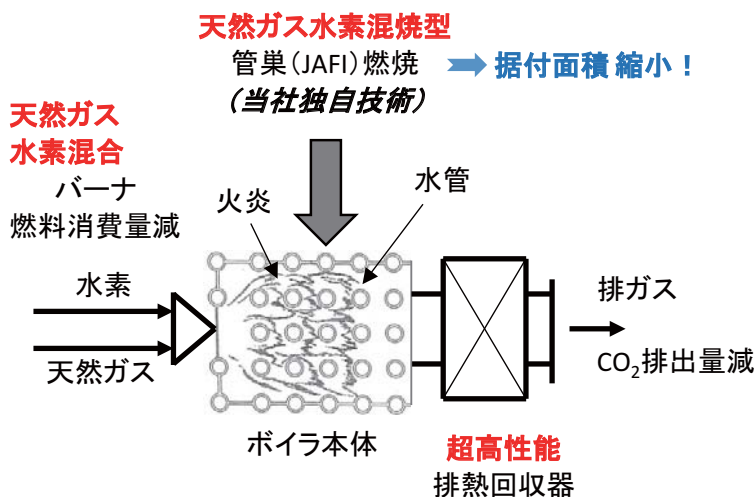
導入後					
エリア	器具種類	台数	1台あたり消費電力	年間使用電力量	年間CO <sub>2</sub> 排出量
		(台)	(W)		
第一工場	高天井器具Xtra54W ファクトリー4灯式	39	206	16,068	8,387
第二工場	高天井器具Xtra54W ファクトリー3灯式	35	157	10,990	5,737
合計		74		27,058	14,124

CO <sub>2</sub> 排出量削減効果	
年間削減量	削減率
(kg)	(%)
20,062	70.5%
20,363	78.0%
<b>40,425</b>	<b>74.1%</b>

## ⑥水素社会実現を加速するボイラの研究開発

- 既存ボイラよりも省エネルギーで CO<sub>2</sub> 排出量が少なく、環境負荷低減に寄与するボイラの実現のため、燃焼により CO<sub>2</sub> が発生しないと現在注目されている水素を利用した小型高性能ボイラの商品化を目指して研究開発を進めています。

[開発ボイライメージ]



CO<sub>2</sub>  
削減

省  
スペース

省  
エネ